

資料3

トキEP（ペレット）の改良について

1 背景と経緯

- ・ トキの数が増加するにつれて、馬肉飼料（当時は人工飼料）も大量に必要になってきた。しかし製造には熟練や手間がかかること、さらに保存期間などの制約があった。また、飼料をすべてドジョウでまかなうには、予算や仕入先、栄養的にも現実的ではない。
- ・ 動物園等でも馬肉飼料に比べ、労力の軽減と飼料代の削減のためにペレット開発の要望があった。
- ・ 2001年に、(株)ハイペットからトキ用ペレットの提案があり試作品について給与試験をおこなった（原材料は不明）。しかし、この会社が倒産したことから、(株)オリエンタル酵母に製品化を要請して現在に至っている。
- ・ ハイペット製の固形飼料は嗜好性がわるかったが、オリエンタル酵母は発泡状固形飼料で嗜好性が非常によくなった。また、脂肪はハイペットの11.1%に比べ11.7%とやや高い。そのせいか、トキではペレットを飽食すると体重が増えすぎて飛行に支障が出る個体が散見された（特に若い個体）。このようなことから、カロリーや脂肪分（ドジョウ4.7～10%）を下げるように提案した。
- ・ ペレットの形状か、原材料によるものかは不明であるが、繁殖期に採食量が減少するため、原材料の見直しを依頼した（チキンミールなど）。

2 成分について

現行製品 タンパク 35.0% 脂肪 11.7% カロリー389K（理論値）

試作① ・ピーナッツミール、グルテンミール、脱脂粉乳、ミルクカゼインを削除。

・大豆油を1.5%まで減少。チキンミールを加える。

→タンパク 32.1% 脂肪 7.3% カロリー369K

試作② ・試作①の大豆油を1.0%まで減少。トウモロコシを0.5%増量。

→タンパク 32.1% 脂肪 7.3% カロリー366K

3 試験期間

12月中旬頃から3ヶ月間

4 試験個体

（センター）トキ3羽（Dケージ1号室）……試作品ペレット（飽食）＋ドジョウ50g

トキ3羽（Dケージ7号室）……従来品ペレット（飽食）＋ドジョウ50g

（多摩）クロトキ 2、ムギワラトキ 2、ホオアカトキ 2、トキ 1

5 試験方法

試作品給与区と対照（従来品給与）区の嗜好性、体重および血液検査結果の比較検定

6 血液検査項目

Ht、TP、A/G比、GOT、GPT、総コレステロール、トリグリセライド、尿酸、BUN、クレアチニン、血糖、ヘモグロビン

7 試作量

最低ロット2t（製品量1.5t）→150袋

8 その他

- ・ 小委員会での承認後に試作品を発注（製造まで2週間程度）する。
- ・ 成分変更の場合、今後のトキEPに適用される。